

# 令和4年度 あきる野市生涯学習コーディネーター養成講座「講座記録」

「企画・運営」コーディネーター事業グループ（2グループ）

作成：令和4年9月27日 加藤

講座名	令和4年度 あきる野市生涯学習コーディネーター養成講座（第4回）		
日時	令和4年9月 16日（水）午後7時～9時	場所	あきる野ルピア産業情報研修室
	*午後5時30分～6時30分 会場設営他の準備		
出席者 （敬称略）	講師：溝口会長 加藤事務局長		「欠席」：山崎敦子
	受講生：（敬称略）：遠藤和代、谷恵理子、秋山眞生子、福田喜代子、内田恵子		
主催者側	市側：森田係長、中西主事 コーディネータ会：溝口会長、中条相談役、中澤、阿部、矢島 2G：北岡、佐久間、加藤、		
講座 テーマ 司会・進行 北岡	講師紹介 北岡 講義 前半：50分 休憩：10分 後半 50分 合計110分 I 講座の企画と運営 溝口会長 II 学習情報の収集と発信 加藤事務局長		
配付資料	・養成講座 ①『実践講座テキスト』		

## 1 「講座の企画と運営」（50分） 溝口会長

〔講義要旨〕

**溝口**：生涯学習コーディネーターの会の会長の溝口です。

生涯学習はこれまで市が主催で行ってきましたが、これからは市民が中心となって市と協働で実施していくことになりました。

この活動に参加する前には、コーディネーター的なものを音楽関係で行っていました。コーディネーター1回生として受講したとき講師の先生からあきる野市でぜひ企画・推進するように励まされました。それでNPOを立ち上げ音楽などの企画・推進をしてきました。音楽をやっている人の活躍の舞台が必要と感じ、国際交流も行っています。

生涯学習コーディネーターの会は、役員会と3つのグループからなっています。1Gは講座の企画・運営、2Gは養成講座、3Gはホームページや情報の収集・発信を担当しています。第18期の受講生の方々が、この養成講座を修了されて、ぜひコーディネーターの会の活動に参加し、市の生涯学習推進課と協働で一緒に生涯学習の推進にご協力いただくことを願っています。よろしくお願いいたします。

### 1. 学習講座事業グループ（第1グループ）はどのような活動をしているところ

生涯学習コーディネーターの会主催の講座の企画・運営を活動内容としています。今年、16名で11講座を計画しました。市の委託事業である、生涯学習人材バンク登録者を活用した講座の企画・運営、公民館事業の市民企画を提案し、実施しています。「魅力ある講座」を実施することが肝要で、魅力ある講師の発掘や育成にも力を入れています。

### 2. 成功する講座とは（内閣府の世論調査）

#### 1) この1年間の生涯学習状況

健康・スポーツ・趣味がメイン、“生涯学習をしたことがない”という方もまだ40%程度いる。

#### 2) 生涯学習は何のためにしているか？している理由

人生を豊かに、健康の維持・発展、他の人とのつながり、仕事の関係、日常生活への活用などが主体、地域や社会のためは少ない。

- 3) この1年間に行った生涯学習の形式  
インターネットや職場が多く、自宅や図書館、TV やラジオがそれらに次ぎ、公民館や公的機関、カルチャーセンターなどはその下に来ている。
- 4) 身につけた知識などの活用状況  
「人生を豊かに」がトップで家庭など日常の生活や仕事関係、健康が続いている。
- 5) 今後学習したい内容  
趣味・健康・仕事がメイン、家庭生活・教養が次いでいる。

### 3. 講座の企画にあたって特に留意すること

- 1) 内閣府の世論調査や市民のニーズを把握  
**※企画した講座は市と協働の企画となること**
- 2) 講師の選定は大変重要
  - ・地元の専門家、人材バンク登録者など
  - ・講師謝礼の限度がある。
  - ・講師料、受講料（500円程度）のバランスを
- 3) 企画のテーマは市の各部署の企画事業、他の団体との重複に注意

### 4 講座の企画・募集とその運営の要領

- 1) 年間事業計画を会員全体で立案、期日までに提出。
- 2) 第1G内で検討し、年間の事業計画を立てる。
- 3) 役員会の討議・承認を経て、教育委員会との協働事業、公民館事業として4月の定例総会で決定
- 4) 公民館が実施する「市民企画講座」へ応募（5月申請、6月上旬決定）

#### ※ 講座の計画と運営の実際の流れ テキストP3の手順に従う

- 1) 講座実施計画書
- 2) 学習講座計画書、講座計画予算書、市民企画講座申請書
- 3) 広報原稿：広報掲載月の2カ月前月末までに提出
- 4) 公示ポスター・チラシ作成：生涯学習推進課に提出 QRコード作成
- 5) 実施当日：アンケート用紙、領収書、（傷害の可能性ある場合、野外活動のとき）事前に保険加入
- 6) 講座実施報告書：実施内容の報告、アンケート分析報告書、会計報告
- 7) 実施時の写真：記録用 3Gに提出

### 5 講座計画の参考データ（2006～2019）

これまでのコーディネーターの会の講座やあきる野市広報掲載講座につき分野別に件数を集計。

### 6 資料

#### 1) 定型の様式（会のホームページからダウンロード）

- ・学習講座計画書
- ・広報原稿
- ・講座チラシ例：スマホの使い方基礎講座、石造物に見るあきる野の人々の歴史、「バラの剪定」講座、～市民企画講座～筋肉再教育
- ・講座実施報告書
- ・会計簿
- ・アンケート用紙・同まとめ

#### 2) 令和3年度講座実績

#### 3) 令和4年度事業計画一覧表：市民企画講座2件を予定

北岡：質疑に移ります。

### 【 質疑 】

Q1 「学習講座計画書」 p16以降の具体的内容について説明をして欲しい。

A1 「学習講座計画書」について説明します。はじめに「講座名称」を記入してください。 - 市民ふれあい塾 - ですが、公民館の「市民大学」に対応するコーディネーター会の講座の名称です。その次に「石造物に見るあきる野の人々の歴史」といった講座の正式の名称を記入します。

次に講師の方の名前、募集定員、ここでは25名となっていますが、これらを記入します。少し下にNo.11の「告知方法」というのがあり、広報（7月1日号）とあります。

右のページに「7月1日広報原稿」がありますが、7月1日広報に掲載するためには、2カ月前の月末までに生涯学習推進課の方へ原稿を提出する必要があります。従ってそれまでに講師を始めとして「学習講座計画書」の各項目の内容を確定しておく必要がありますので、ご注意ください。

「学習講座計画書」の下段にNo.16の予算書があります。「市民ふれあい塾」では、市民の方から500円程度の受講料をお願いして運営しています。講師謝礼などの出費で不足が見込まれる場合は、コーディネーターの会から不足分を補填しています。

「申し込み方法」ですが、QRコードによるオンラインの申し込み以外にはがきによる申し込み方法もあります。ここでは往復はがきによる方法が例示してあります。

講座が終了しますと、p18の「講座実施報告書」を提出していただきます。これには、受講者数、講座内容の他に「講座予算実績報告書」という決算書とアンケート結果、むすび（感想）を記入していただきます。

右のページにアンケートのまとめの例があります。講座を何で知ったか、講座内容は？などから始まって受講者の年齢、性別などが記載されています。

ここまでされてやっと講座の企画と運営が終了します。

Q2

A2

北岡：時間ですので10分間の休憩とします。

## II 「学習情報の収集と発信」（50分） 加藤事務局長

事務局を担当しています加藤です。私は「学習情報の収集と発信」を専門としているわけではありませんが、都合で講義をさせていただきます。

### 1 情報とは？

- 1) 目に見えない 見えるようにすると、「人の心を動かす」
- 2) 生涯学習における情報とは？
  - ・人とのつながり、持続社会の形成、「私」の確立 などに関するもの
- 3) 情報の価値
  - 一般には ①実用性がある ②ほぼタダでもらえる ③質の高い情報が大量にもらえる
  - 情報に“価値がある”とされる。例：インターネットでは簡単に有用な情報が得られる。

しかし、その対極にある ①基本となる哲学 ②時間と忍耐が必要 ③質の高い少量の知恵という情報も捨てがたい魅力がある。

### 2 学習情報

- 1) What? ①ユネスコの流れ ②SDGs “質の高い教育をみんなに”
- 2) For? How? ①「私」のため ②「人」のため

・考える ・自分をみつめる ・人とのつながりが自分を救う

3) Where? あきる野市の場合 ①図書館 ②市広報ほか ③市の施設 ④学習相談 (未実施)  
学習情報の例 1: 日本の総人口の長期的トレンド 例 2: 地球温暖化 (ユネスコ ESD ロードマップ)

4) 2種の学習課題

①要求課題 「私」が求めるもの: 趣味、健康…

②必要課題 「人」が求めるもの: 社会的要請によるもの

### 3 学習情報の収集

1) 情報源に近い処から集める

2) 講師情報: 人材バンク登録者 過去の講座講師 友人・知り合い・地域

3) 身近の見えない情報: 人材バンクに登録していただく

4) 施設情報: 各施設の市ホームページ (HP)

### 4 学習情報の発信

1) 目的: 必要とする多数の人に届ける

2) 内容: 講座情報 案内情報

3) 手段: 市の広報 ポスター・チラシ ロコミ ホームページほか  
多くの人に参加いただくためには PR 努力が必要

4) 学習内容の共有と発信: 一ヶ所に集中し公開

ホームページ (コーディネーターの会 HP) に掲載

### 5 講座開催における配慮 (多様な市民参加のための配慮 【財】東京市町村自治調査会報告書より)

1) ターゲットとする参加者に適した日時を設定

2) 他団体 (市の各部署・寿大学などを含む) との重複を避ける

3) 会場の場所の選定、交通の利便性、駐車場など

4) 申し込み方法: 電話、ハガキ、QR コードなど

### 6 あきる野市での講座実施状況

調査対象; 市広報掲載のデータ (ルピア情報、体育関係などを除く)

会の講座実施の際のアンケート調査

1) 月別開催件数

2) 講座の内訳 (H30) 趣味・生活・子育て支援・健康関係が多い。

3) 平成 20~30 年の月別開催件数

4) 同 講座件数の推移: 漸増の状況

### 7 講座参加者の状況 (平成 21 年~)

1) 平安貴族の恋と結婚: 市の広報がメイン、60 代・70 代が圧倒的に多い。

2) H30 年度生涯学習シンポジウム

3) バラの剪定

4) 講座を知った情報源 (まとめ): 市の広報がメイン

5) 参加者の年代 (まとめ): 60 代・70 代が圧倒的に多い。

### 8 生涯学習人材バンク: (令和 2 年 3 月)

登録人数 40 人 + 7 団体

### 9 まとめ

1) 生涯学習への認識は上がっている。

ニーズの発掘 (現在参加者は高齢者がメイン、若年層への拡大、必要課題への挑戦)

2) 生涯学習人材バンクの有効活用

3) 市広報は情報発信の重要手段

4) 会のホームページも活用しましょう

## 【質疑応答】

Q1 チラシの配布方法について具体的に教えて欲しい。

A1 中央公民館、図書館、キララホール、ルピア、五日市出張所 (地域交流センター) などの公の場所は、市の方で配布していただけます。あとは個人的なつながりを利用してチラシ・ポスターの配布・掲示をお願いします。ただスーパーなどの商店はいろいろ制約があり、難しい場合が多いです。個人の商店などは個人的

つながりをお願いできます。

**Q2** 生涯学習人材バンクの有効活用についてお聞きしたい。

**A2** 「市民ふれあい塾」では積極的に生涯学習人材バンクの方々に講師をお願いしています。ただあきる野市の場合、人材バンクへのいろいろの分野の登録者がありますが、登録者がまだ少なく、苦勞している面もあります。市内には、特別の経験や特技を持たれる方々が大勢いますが、なかなか人材バンクへの登録につながっていません。これからの課題と考えています。

**北岡**：時間を少しオーバーしましたが、次回の案内をして終了したいと思います。

お疲れさまでした。

**◎次回案内** 9月22日は「学びを地域に還元」本庄先生の講義です。16・17期生との交流があります。16・17期生の企画講座について質問し、交流してください。

**次回は pm 6 時 3 0 分開始です。**

以上

「講座記録配付先」

- 1) 中西主事経由 生涯学習推進課 佐藤担当部長、沖倉課長、森田係長
- 2) 生涯学習コーディネーターの会 全役員
- 3) 生涯学習コーディネーターの会 2Gグループ員